

2021 年度 入試向け

プレテスト第二回問題

解答用紙	・ ・ ・ ・ ・	P.1-2
国語問題	・ ・ ・ ・ ・	P.3-16
算数問題	・ ・ ・ ・ ・	P.17-21
回答と配点	・ ・ ・ ・ ・	P.22-23
算数解説	・ ・ ・ ・ ・	P.24-25
国語解説	・ ・ ・ ・ ・	P.26-34
成績参考資料	・ ・ ・ ・ ・	P.35
合格判定基準	・ ・ ・ ・ ・	P.36
教科別総括	・ ・ ・ ・ ・	P.37
教科概評	・ ・ ・ ・ ・	P.38
出題意図	・ ・ ・ ・ ・	P.39-40
国語入試問題の出題内容について		P.41-43



桃山学院高等学校
St. Andrew's School



202110110

二〇二一年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第二回
国語 解答用紙

□

受験番号				名前
P	①	①	①	①
	②	②	②	②
	③	③	③	③
	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨	⑨	⑨	⑨

一										
問 11	問 10	問 9			問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
①		Z	Y	X				a	B	A
②					問 7			b	D	C
③					問 8					

二										
問 6						問 4	問 3	問 1		
						問 5		問 2		
							S			

60

二			
問 12	問 11	問 9	問 7
	X		
問 13	Y	問 10	問 8

三						
(2)	(1)					
①	⑥	⑤	④	③	②	①
②						

四			
(4)	(3)	(2)	(1)
A	①		② ①
B	②		
			記号 記号



202110130

2021年度 入試向け

桃山学院中学校 プレテスト第2回
算数 解答用紙

受験番号				名前
P				
	①	①	①	①
	②	②	②	②
	③	③	③	③
	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨	⑨	⑨	⑨

1

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

小計
※

2

(1)		cm	(2)		mL
(3)		度	(4)		通り
(5)		個	(6)		度

小計
※

3

(1)		円	(2)		個
-----	--	---	-----	--	---

小計
※

4

(1)	分速	m	(2)	分	秒後
-----	----	---	-----	---	----

小計
※

5

(1)		(2)		(3)	段目
-----	--	-----	--	-----	----

小計
※

6

(1)		cm	(2)	:	:
-----	--	----	-----	---	---

小計
※

合計
※

桃山学院中学校 プレテスト第二回 問題

国語 [五十分・百五十点]

注意事項

- 1 問題用紙は1ページから14ページまであります。
- 2 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 3 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入してください。
- 4 解答用紙の余白には何も記入しないでください。
- 5 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 6 「終了」の合図で筆記具を置き、監督の先生の指示に従ってください。

受 験 番 号				名 前
P				

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

文学研究とは具体的に何をするのか——まずは原文との格闘です。

私はもう長らくイギリス文学を ^A研究しているので、英語に向き合ってきた経験は長いのですが、今でも原文の読み込みにはたくさん時間と労力がかかります。知っているはずの言葉でも、「この作品の、この部分で使われているのは、どんな意味なのか」を深く考え、より正確な ^Bニュアンスをつかみ取るために辞書を何度も引き直します。大変な作業ですが、しかし、そうやってじっくり作品と向き合うことが研究には不可欠なのです。

^C私の場合は必ず、「語り手」にも注目します。小説には必ず、読者に向かって物語を述べる語り手がいて、語り手の視点から世界の様子が描かれていきます。

語り手にはいろいろな種類がありますが、「①一人称の語り手」と「三人称の語り手」とにわけられます。三人称の語り手は、神のようにすべてを知っている存在です。「高慢と偏見」はこの三人称のかたちで書かれています。

ここでは「一人称の語り手」に注目してみましょう。

一人称とは、「私・僕」など、自分のことを呼ぶときに使う呼称ですね。 ^a物語の中にいる登場人物のひとりが、「私」という一人称を使って、見たもの・感じたことを語るることによって物語が展開するのが一人称小説です。「私は彼に会った」や「私はそのときこう思った」のように、語り手自身が経験したこと・知ったことを読者に語る、というスタイルの小説です。ダニエ

ル・デフォーの『ロビンソン・クルソー』やシャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』をはじめ、一人称で語られる作品はたくさんあります。

一人称小説のおもしろいところは、この語り手の特徴を分析することによって、たたくさんのことがわかることです。

【ア】

一人称の語り手は必ずしも作品全体を通してひとりではなく、章や場面によって違う人物が語り手になる構成の作品もあります。ここで大切なのは、一人称の語り手は「私」という人物ひとりの「見える・知る範囲のこと」しか語れないということです。

【イ】

物語世界の中では、「私」がいなくてどこか見えていないところでも時間は進み、さまざまなきことが起こりますし、 ^b「私」は自分以外の登場人物の心の中を知ることにはできません。「私」は当然、(三人称小説の全知の語り手とは違って) 物語世界の中で起こっていることすべてを知ることにはできないのです。

【ウ】

しかも、この「私」は嘘をつくこともあります。語り手であるその人物ならではの考え方のくせや思い込みもあれば、価値観の偏りもあります。つまり、 ^③「私」が感じたり思ったりしたことが、別の角度から見たときに真実であるとは限らないということなのです。

【エ】

語り手が語る世界の外側にも物語の世界が広がっている、ということを前提にして一人称の小説を読むと、さらに深く物語を読み込めると思いませんか？

例えば19世紀初めにイギリスで書かれた『フランケンシュタイン』は、題名こそあまりにも有名ですが、あなたが知っているのは、正しい小説の姿ではないかもしれません。

映画化された作品がとて有名で、フランケンシュタインの名前は今でもアニメやマンガにも登場します。しかし映像のイメージばかりが先行し、原作はあまり読まれていない作品なのです。

これがわずか19才の女性メアリ・シェリーが書いた作品だと知っている人はどれだけいるでしょうか。あるいは「フランケンシュタイン」が怪物の名だと勘違いして、怪物を生み出した科学者の名前だということを知らない人さえ意外と多いのではないのでしょうか。

実はこの『フランケンシュタイン』という作品は、ストーリーの独自性だけでなく構成の面でも完成度が高く、研究すべき点がたくさんある小説です。

この作品には、主な語り手が3人登場します。その3人がそれぞれ一人称で語ります。つまり読者は3人の人物の、それぞれ異なる視点から同一の世界を体験することになるのです。

最初に出てくる語り手は、ウォルトンという青年です。彼は姉へ宛てた手紙というかたちで、北極探検へ向かう道中に出会った人物である科学者フランケンシュタインから聞いた奇妙な話について語ります。

ウォルトンにとつては、物語の本筋であるさまざまな悲劇的なできごとの大部分は、フランケンシュタインから聞いた話であつて、彼自身の目で見たことではありません。当然ながらウォルトンの話だけでは、物語世界で起きたことすべてを知ることはできません。

ふたり目の語り手は、科学者フランケンシュタイン——恐ろしい怪物をこの世に生み出した張本人です。フランケンシュタインは、自分自身が生み出してしまった恐ろしい怪物とその残酷な所業について、被害者としての憎しみを込めて一部始終を語ります。物語の始まりからすべてを見てきたかのように見えるフランケンシュタインですが、それでも彼の話だけでは事件の全貌を知ることはできません。

3人目は、怪物自身です。フランケンシュタインと再会した怪物は、自分がこの世に生み出され捨てられてから今までのことを、怪物本人しか知りえなかった感情やできごとを通して語ります。3人目の語り手が現れて初めて、読者は恐ろしい事件のすべてを知り、怪物や登場人物たちの身に起こった悲劇が何だったのか、全貌を知ることになるのです。

語り手の3人には、それぞれのものの見方の歪みや、価値観の偏りもあります。語り手に着目してその性格や考え方をつかむこととて、物語のより深い部分に触れることができますし、語り手によって何がどう語られたかを分析することで、それが作品にどのような効果を生み出しているのかを、客観的に説明することもできます。

例えば、ウォルトンという青年は、うぬぼれの強い大げさな口調のわりに、逆境に弱いふるまいから、熱しやすく情熱的な反面、精神的にまだ未熟でもろい性格の人物であることが読み取れます。つまり、必ずしも正しい判断力を持った人物ではないので、その分を差し引いて、ウォルトンの語り手に耳を傾ける必要がある、といえるのです。

語り手に注目すると、物語を深く理解するためのさまざまな手

がかりがえられますが、^④分析の方法はそれだけではありません。できごとがどういう順序で語られているか、つまり「プロット」がどんな構成になっているかという問題や、登場人物たちがどのようにデザインされているかなどを分析することもあります。

作家の伝記資料や手紙、日記などを調査することもありますし、作家の生きた時代背景などを踏まえて、社会へのどういったメッセージが込められているかを探る場合もあります。例えば「階級意識」という観点から見るとどう読めるかとか、「女性の権利」という観点から見るとどういう意味があるか、というようにです。

物語には、もともとそれだけたくさんのもものが詰まっています。特に、^⑤優れた古典作品は、どこまで深読みしても、まだまだ読める、どこまでも読める、というものばかりです。

そうした古典作品を読むことは、私たちに人間としての力を与えてくれます。だから私は、特に若い人たちにすばらしい作品に出合っしてほしいと願っているのです。

「人間とは何か？」を深く描く物語には、現実を生きる人間を救う力があります。

だからこそ、世の中の多くの人々が文学作品に触れ、読み続けることができるようにすることが、私たち文学研究者の仕事の土台にあると思っています。たんに作品を紹介するのではなく、いつの時代も古典と呼ばれる名作に目を向けてもらう努力をするこ

とが使命だと思っています。

(廣野由美子『スタディサプリ 三賢人の学問探究ノート(1) 人間を究める』)

*問題作成の都合上、文章を改変した部分がある。

※(注1)『高慢と偏見』はイギリスの小説家ジェーン・オースティンによる長編小説。

(注2)全貌は全体の様子、全容。

(注3)プロットは物語の筋、構想。

問1 —— A「研究」・C「読者」と熟語の構成が同じものをそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

ア 市営 イ 作文 ウ 天地 エ 再会 オ 基本

問2 —— B「ニュアンス」・D「逆境」の本文中での意味として最も適切なものをそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

B「ニュアンス」

ア 辞書にのっている言葉の意味

イ 言葉が使用される回数

ウ 言葉の細かな意味合い

エ 言葉を文字にしたときの書き方

D「逆境」

ア 自分の力では思うようにいかないようなつらい場面

イ 相手の気分を書きしてしまって困っている場面

ウ 自分が全く考えもしなかった意外な場面

エ 相手と考えがちがっているので歩みよれない場面

問3 [a]・[b]にあてはまる言葉として適切なものをそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。(記号の使用は一回ずつとする)

- ア けれども イ そもそも ウ なぜなら
エ つまり オ ところで

問4 ①「一人称」とあるが、これは何か。それがわかる表現を、本文中から十五字でぬき出しなさい。

問5 ②「神のようにすべてを知っている」を別の言葉で言い換えた同義の表現を、本文中から二字でぬき出しなさい。

問6 ③「私」が感じたり思ったことが、別の角度から見たときに真実であるとは限らない」とあるが、これはなぜか。その理由として適切でないものを、後から選び、記号で答えなさい。

ア 物語の中の「私」は自分以外の登場人物の心の中を知ることができないから。

イ 物語の中の「私」は、作品全体を通して同じ人であるとは限らないから。

ウ 物語の中では、「私」が見ていないところでもいろいろな事件が起きるから。

エ 物語の中の「私」が語っていることは、いつも本当のことであるとは限らないから。

問7 ④「分析の方法はそれだけではありません」とあるが、「それ」以外の分析の方法を述べたものとして適切でないものを、後から選び、記号で答えなさい。

ア 登場人物がどのように描かれているかというデザインに着目した分析の方法。

イ てきごとがどのような順番で書かれているのかという構成に着目した分析の方法。

ウ 時代背景などをふまえた、作品のもつ社会へのメッセージという点からの分析の方法。

エ 作家の伝記資料や手紙、日記などをもとに、作品の評価が変化している原因の分析の方法。

問8 ⑤「優れた古典作品」とあるが、このような作品にはどのような力が備わっているのか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア ものごとを客観的にとらえられるようになる力。

イ 話し手に着目して読めるようになる力。

ウ 物語を原文で読めるようになる力。

エ 現実に生きている人間を救うことのできる力。

問9 「フランケンシュタイン」という「作品」について、次の表のようにまとめた。表中の〔X〕・〔Z〕にあてはまる言葉を一（ ）内の字数指定にしたがって本文中からぬき出しなさい。また、〔Y〕にあてはまる語り手を本文中からぬき出しなさい。

語り手	語りの内容や特徴	
ウォルトン	〔X〕(十字)	彼が、〔X〕(十字)で出会ったフランケンシュタインから聞いた話を、姉への手紙の中で語る。
怪物	〔Y〕	怪物のことやその残酷な所業について、憎しみを込めて一部始終を語る。 怪物だけが知っていた〔Z〕(七字)を通して、自分が生み出され捨てられてから今までのことを語る。

問10 本文には次の段落が省略されている。〔A〕～〔E〕のうち、どこに入れるのが適切か。記号で答えなさい。

一人称小説を読むということは、自分ではない、語り手の「私」の目を通して世界を見ている、ということにもなります。

問11 次の①～③の各文について、本文の内容と照らしあわせて、正しければTを、間違っていればFを書きなさい。

- ① 筆者はイギリス文学の研究者であるため、英語で書かれた文章を読むことには慣れていますが、日本語で書かれた文章を読むことには時間がかかると述べている。
- ② 「フランケンシュタイン」の登場人物の一人である「ウォルトン」は正しい判断力を持った人物ではないので、その語りに耳を傾ける必要はない。
- ③ 筆者は、世の中の人々に、古典と呼ばれる名作を読んでもらえるようにしていくことが、文学研究者の仕事であり、使命であると感じている。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限がある問いは、句読点とその他の記号も一字に数える)

三男は、メンコほど楽しいものはないと思った。勝つことのほうが多いが、負ける可能性もあるわけで、そのスリルがたまらない。野球にプロがあるように、メンコにもプロがあればいいのとさえ思った。

ところが、小学校四年生の夏休み明けに転校してきた荻村君の母親が「本メン」は禁止にすべきだと学校に訴えた。三男は、昼休みに担任の橋本先生に呼ばれて事情を聞かれた。

「おれ、いや、僕はちゃんとルールを説明しました。僕たちがやっているのは本メンで、取られたメンコは本当に相手のものになるんだぞって。荻村君がそれでもいいって言ったから、仲間に入れたんです」

それは事実で、荻村君が本メンはイヤだと言ったら、仲間に入れるつもりはなかった。

「しかし、なにも三十枚全部取っちゃうことはなかっただろう。しかも荻村が駄菓子屋で買ったばかりのメンコをよ。山田がそんな気になった理由も分からなくはないが、今回はチトまずかったな」

橋本先生はなにもかもお見通しだと思い、「すみませんでした」と三男は謝った。

東京から引越してきた荻村君は、いかにもお金持ちの家の子どもという感じだった。メンコをしたことはないし、持ってもいないというので、三男はよく行く駄菓子屋を教えてやった。その場所も分からないというのでついて行ってやり、メンコもみつく

ろってあげたのだ。

「これでお願います」

荻村君は財布からだした五百円札でメンコを買った。

買ったばかりのメンコが弱いのは常識だ。新品のメンコをもらい、叩いたりして、適度に柔らかくすることで攻撃にも守りにも強いメンコをつくりあげていく。

しかし、繰り返し打っているうちにメンコの紙が弱ってしまい、もう使えなくなるときがくる。Xに馴染み、長いあいだ活躍してくれたメンコに別れを告げるのは本当につらかった。

荻村君が転校してきたのは、三男がそろそろ新しいメンコを買わなければならないと思っていたときだったので、魔が差してしまったのだ。

「山田。しばらくメンコはやめておけ。ほかに遊びはあるんだから」

「はい。分かりました」

三男は橋本先生に頭をさげたが、ことはそれでは済まなかった。

職員室から教室に戻ると、みんなが自分と目を合わせようとしないのに気づき、三男は不安になった。

「それって、泥棒と同じじゃねえ?」

「三十枚はひどいよなあ」

いつも遊んでいる男子たちが小声で話しながら三男に背中を向けた。女子も、いかにも軽蔑した目でこっちを見ている。荻村君は窓側の席でとなりの女子と楽しそうに話していた。

みんなになにを言ったのか、荻村君を問い詰めたかったが、そ

れでは余計に立場が悪くなりそうだった。悪いことに、^③齋藤君はおじいさんが亡くなって、お葬式に出るために、おとうさんの生まれ故郷である鹿児島に帰っていた。

昼休みも放課後も誰も遊んでくれなくなり、三男は落ち込んだ。しかし、元気はありあまっていたので、この機会に鉄棒の技を磨くことにした。

足掛け回りに、足掛け後ろ回り。両膝の裏で鉄棒からぶらさがり、頭を下にしたまま体をゆらして、反り返りながら着地する「コウモリ」。鉄棒の上に両足で立ち、しゃがみながら両手で鉄棒をつかんで前方に大きく跳ぶ「飛行機」。

どれも身につけていた技で、三男はすぐに飽きてしまった。ミュンヘンオリンピックで金メダルを獲得した体操選手たちの活躍は目に焼きついていたが、小学校の鉄棒で大車輪に挑むのはさすがに危ない気がした。オリンピックで使う鉄棒はとてよくしなるし、手につける白い粉にも秘密がある気がする。

そんなとき、NHKテレビで体操の大会の放送があり、三男は食い入るように演技を見つめた。選手はコーチに支えられて鉄棒に飛びつき、両脚を振ったかと思うと、腰を鉄棒に当てた体勢になっっている。ただし、それは助走のような技なので、いくら実況や解説を聞いても、その技の名前は言っていなかった。

両親や兄たちも知らなかったのも、三男は担任の橋本先生に質問した。

「あれは蹴上がりだ。選手たちは簡単にやっているが、けっこう難しいんだぞ」

橋本先生は体育が専門だ。五、六年前までは蹴上がりができたが、五十歳を過ぎた今はとても無理だという。

「山田の運動神経なら、少し練習すればできるんじゃないか」

三男は蹴上がりを教えてほしいと頼んだが、校庭の鉄棒では危ないと断られた。それでもしつこく粘り、コツを教えてもらった。「大切なのは体の動きをイメージすることと、リラックスすることだ。そろえた両脚を大きく振って、足先が一番高い地点にきたところで空中を蹴るんだ。仰向けに寝転がった格好でズボンをはくイメージで、空中を蹴って、その反動で起きあがる。腕の力はいらない」

その日の放課後、三男は一番高い鉄棒にぶらさがった。校庭ではクラスメイトが荻村君を中心にドッジボールをしているが、誰も三男を誘ってくれなかった。ただし気になるよううて、みんな「Y こつちを見ている。」

「多分、いけるね」
小声で言うと、三男はそろえた両脚を大きく振って勢いをつけた。

「よし。次だ」
頭のなかで決意し、つま先が鉄棒の高さを超えた瞬間、両脚で空中を蹴った。途端に上半身が起きあがり、三男は鉄棒の上にいる。

「えへへ、やったね」
一人で喜んでいると、「山田君、すげえ」と口々に言いながら、クラスメイトが走ってきた。

「今の技、なに？」

「蹴上がり」

「もう一回、やってみてよ」

「いいよ」

鉄棒の上から校庭に目をやると、ポールを持った荻村君がつまらなそうに立っていた。

「おい、荻村。④おまえのおかげでもあるんだぜ」

頭のなかつぶやき、三男は「飛行機」で砂場に降りた。そして鉄棒に飛びつき、見事な蹴上がりを決めた。

三男は十回以上も連続で蹴上がりをした。クラスメイトに求められたからだが、おかげで完全に蹴上がりをマスターした。ふしぎなことに、十回も蹴上がりをしたのに手のひらにマメができていない。Xの握りをしながら蹴上がりをしてみると、たしかにまるで力が入っていない。親指以外の四本の指先を鉄棒に引っ掛けているだけの感じて、それについて体が面白いように回転する。

「山田、おれにもその技を教えてくださいよ」

今日から学校に來だした齋藤君に頼まれて、三男は蹴上がりのコツを伝授した。

「けっこう難しそうだな」

「そんなことないよ。おれだって初めてやったんだから」

本音を言えば、何日かは蹴上がりを自分だけの技にしておきたかった。しかし、⑤今の状況では友だちに冷たくはできない。

「よし、見てろよ」

学年で一番背が高い齋藤君が高鉄棒に飛びついた。体を振ろうとするが、なめらかさがない。心配したとおり、齋藤君は蹴上がりに失敗した。

「山田、もう一回やってみてくれよ」

「いいよ」

軽くジャンプして両手で鉄棒をつかむと、三男は一度体を振っただけで蹴上がりを決めた。

「おまえ、塚原や監物みたいだな。いつかオリンピックでメダルを獲れよ」

齋藤君から褒められて、三男は満足だった。

やがて日が暮れてきて、みんなと一緒に校門をでた。荻村君はいつの間にかいなくなっていた。

⑥布団のなかで、三男は一日の出来事を思い返した。自分の技を見られないのは残念だったが、友だちの表情がすべてを物語っていた。

「もつといろいろな技をやってみたい。大車輪や伸身の宙返り、それに月面宙返りを」

オリンピックの舞台でウルトラCの技を決める自分の姿を想像しながら、三男は深い眠りに落ちていった。

次の日の帰りの会で、三男は橋本先生から⑦教室に残っているように言われた。

また荻村君が何か言ってきたのかと心配しながら待っていると、橋本先生が笑顔で教室に戻ってきた。先生は、きのうの放課後に三男が蹴上がりをする様子を校舎の窓から見ていたという。いきなり成功したのにも驚いたが、回数を重ねるたびに技の完成度があがっていくのに感心した。

「ところで、おまえのおとうさんは身長はどのくらいだ？ おかあさんは、そんなに大きくなかったよな」

先生からの意外な質問に、三男は首をかしげた。どうしてそんなことを聞くのかふしぎだったが、両親の姿を思い浮かべて、とりあえず答えた。

「正確ではないけど、一六〇センチくらいだと思います。三つ上の兄が、四月の身体測定のとに、もう五ミリ伸びれば一六〇センチで、父を抜けたのにと残念がっていたので」

三男が五カ月ほど前のことを思いだして言うのと、^⑧橋本先生はうれしそうにうなずき、さらに聞いてきた。

「おかあさんは、どちらかというと、痩せ型だったよな。おとうさんは、どうだ？」

「父も、太ってはいません。うちの家系は代々中肉中背だと笑っていたことがあります」

「山田。先生の知り合いのコーチに、おまえを紹介しようと思うんだ。これを、ご両親に渡してくれ」

よく分からないまま、三男は封筒を受け取った。

(佐川光晴「昭和40年男」くオリンポスの家族く)

※(注1) メンコ〓ここでは、円形や長方形などの紙製の板をぶつけあう遊びのこと。

(注2) 塚原や監物〓どちらもオリンピック体操競技の金メダ

リスト。

問1 本文中に二か所ある X にあてはまる共通の漢字一字を、本文中からぬき出しなさい。

問2 Y にあてはまる言葉として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ア ピリピリ イ オロオロ
ウ ジロジロ エ チラチラ

問3 ①「本メン」とあるが、これはどういうものか。それについて説明した次の文の にあてはまる最も適切な言葉を本文中から十九字でぬき出し、最初と最後の三字を書きなさい。

※ というもの。

問4 ②「ことはそれでは済まなかった」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ア 荻村君の母親から、泥棒あつかいされるようになってしまったということ。
イ いつも遊んでいる男子に悪く言われ、無視されるようになってしまったということ。
ウ 荻村君がクラスの女子の人気を集め、楽しそうにすごすようになったということ。
エ メンコで遊ぶことができなくなり、せっかく集めたメンコを返すはめになったということ。

問5 — ③「齋藤君」とあるが、このときの三男は齋藤君のこととどのような人物だと考えているか。最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 三男とは、すぐにけんかになってしまいうライバル。

イ 三男と仲が良く、三男の味方になりそうな友だち。

ウ 女子に人気があり、正義の味方のような優等生。

エ 転入生の荻村君にも優しく接する、おとなしい男の子。

問6 — ④「おまえのおかげでもあるんだぜ」とあるが、三男がそのように頭のなかでつぶやいたのはなぜか。その理由を説明した次の文の□にあてはまる言葉を、「蹴上がり」「本メン」「立場」という言葉を必ず用いて、六十字以内で書きなさい。

※三男は、□から。

問7 — ⑤「今の状況」とあるが、これはどのような状況のことを指しているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア クラスメイトの多くが三男の蹴上がり注目し、その技の素晴らしさを認めている状況。

イ 今日から学校に来たばかりの齋藤君に、技を教えてくださいと頼まれていた状況。

ウ 蹴上がりができるのは、現時点では自分ひとりだけであるという状況。

エ クラスメイトが荻村君の味方になり、三男を遊びに誘ってくれないという状況。

問8 — ⑥「布団のなかで、三男は一日の出来事を思い返した」とあるが、このときの三男の心情として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア 後悔

ウ 無念

イ 尊敬

エ 会心

問9 — ⑦「教室に残っているように言われた」とあるが、橋本先生が三男にそう伝えたのはなぜか。その理由として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア きのうの放課後に、三男が蹴上がりをする様子を見ていたことを伝えるため。

イ 三男が蹴上がり成功した理由は、三男の父や母の体格と関係があることを確認するため。

ウ 自分の知り合いのコーチへ三男を紹介したいという、三男の両親あての手紙を渡すため。

エ 荻村君のことを心配する三男に対し、心配しすぎる必要はないことを理解させるため。

問10 — ⑧ 「橋本先生はうれしそうにうなずき」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の質問に対して三男がしっかりと答えてくれたから。
- イ 自分の予想が当たったことがわかったから。
- ウ 体操選手は体が小さい方が有利だから。
- エ 三男の蹴上りがどんどん上達しているから。

問11 あるクラスで、国語の時間にこの本文の内容について話し合った。次は、本文に登場する「荻村君」について話し合っている中村さんのグループの様子である。話し合い中の X ・ Y にあてはまる言葉を、 X は本文中から二文字でぬき出し、 Y は後から選び、記号で答えなさい。

中村 この文章に登場する「荻村君」はどんな人物だと言えるでしょうか。

山本 ぼくは、「荻村君」は意地悪な性格の人物だと感じました。三男にも悪い部分がありますが、仲間外れにするのはひどいと思いました。

守屋 山本さんの言うように、「三男」を仲間外れにするのはよくないですが、「荻村君」が「三男」のことを仲間外れにしたかどうかは描かれていないので、はっきりとしたことは言えないと思います。わたしは「荻村君」は、自分が主役になりたいタイプの人物なのかなと思います。校庭でドッジボールをしている場面

でも「荻村君」がその場の X になっていることが読み取れます。

酒井 なるほど。たしかに、「荻村君」を X にしてドッジボールをしている様子が読み取れますね。私は、この場面を「荻村君」に同情したクラスの友だちが、彼を元気づけるために遊んでいる様子だと読み取りました。また、三男の鉄棒が友だちの注目を集めているとき、つまらなそうにしている「荻村君」から、 Y を読み取りました。

問12 本文中に登場する「橋本先生」はどのような人物として描かれているか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

- ア 三男のことを人一倍心配している優しい先生。
- イ 三男のやんちゃな部分を直したいと思っている先生。
- ウ 三男の性格や特技をよく理解している先生。
- エ 三男と荻村君の仲を取り持つことに一生懸命な先生。

問13 本文の内容に合っているものを後から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 荻村君は、三男から説明された本メンのルールに同意したにもかかわらず、自分が買ったばかりのメンコを三十枚とられたことへの不満をクラスメイトに伝えた。

イ ミュンヘンオリンピックで体操選手が見せていた「コウモリ」や「飛行機」のような技は、三男にとってそれほど難しいものではなかった。

ウ 橋本先生は、校庭の鉄棒で蹴上がりをすることは危険であるため、いくら運動神経のよい三男であっても絶対にやらせたくないと思っていた。

エ 斎藤君に頼まれて蹴上がりのコツを教えた三男であったが、内心は蹴上がりをいつまでも自分だけの技にしておきたいと思っていた。

【三】 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の――線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。ただし送りがなもふくまれていたものは、送りがなも正しくひらがなで書きなさい。

- ① ミンシユウに向かつて演説する。
- ② 機械をノウヒンする。
- ③ 紙の上に水をぼとりとタラス。
- ④ 蔵書を点検する。
- ⑤ 穀物を育てる。
- ⑥ 絹ててきたハンカチ。

(2) 次の各文の A・B にあてはまる漢字を後の「」のグループからそれぞれ選び、使われずに残った漢字を一字書きなさい。

- ① 大事な役目を A す。
- 友だちに消しゴムを B す。
- 〔貸・借・課〕
- ② スクリーンに地図を A す。
- 文字をていねいに書き B す。
- 〔移・映・写〕

【四】 次の各問いに答えなさい。

(1) □ にあてはまる生き物の名前をひらがなで書き、ことわざを完成させなさい。また、その意味を後から選び、記号で答えなさい。

- ① くさっても □
- ② はりこの □

ア まちがった方法では成果を得られないということ。
 イ 実力もないのにえらそうにしていること。
 ウ すぐれた人のまねをして失敗すること。
 エ 本当によいものは少し悪くなっても価値があること。

(2) 次の①～④の四字熟語の□にあてはまる数字を足していくと、合計はいくつになるか。その数を後から選び、記号で書きなさい。

- ① 十人□色
- ② 一石□鳥
- ③ □心不乱
- ④ 朝三暮□

- ア 16
- イ 17
- ウ 18
- エ 19

(3) 次の文中の□が直接かかる言葉をそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

① 学校では ㉗目標に ㉘向かって ㉙努力する

㉚みんなの ㉛姿が ㉜毎日のように ㉝見られる。

② 昨夜 ㉞となりの ㉟空き地から ㊱聞こえた

㊲音が ㊳今でも ㊴耳に ㊵残る。

(4) 次の□A・□Bにあてはまる最も適切な表現をそれぞれ後から選び、記号で答えなさい。

(花屋さんで)

「無理を承知でおうかがいしたいのですが、今日の夕方までに、緑色の花を五種類使った花束を□A。」

「申し訳ありません。あいにく、本日はこれ以上の緑色の花の入荷はないため、□B。」

□A

ア お作りになられることは可能でしょうか

イ 作っていたことはできますか

ウ 作られていたかれますでしょうか

エ お作りされてもえませんか

□B

ア お引き受けいたしかねます

イ お作りになれそうにありません

ウ できるはずがありません

エ お断りになってしまいます

以上で問題は終わりです。

2021年度 入試向け
桃山学院中学校 プレテスト第2回 問題

算 数

【50分・150点】

注 意 事 項

- 1 問題は1ページから5ページまであります。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 「開始」の合図があるまで問題用紙は開いてはいけません。
- 5 受験番号と名前を解答用紙と問題用紙に正しく記入しなさい。
- 6 計算機能付き腕時計・携帯電話は使用禁止です。
- 7 「終了」の合図で鉛筆を置き、監督の先生の指示に従いなさい。

	受 験 番 号	名 前
P		

1 次の にあてはまる数を答えなさい。

(1) $(136 - 59) \div 11 \times 17 - \{13 \times 7 - (75 - 18) \div 19\} = \text{$

(2) $36 \times 2.5 \times 39 \div (30 \times 52 \times 4.5) = \text{$

(3) $0.5 + (\text{} - 0.75) \times \frac{2}{19} = \frac{2}{3}$

(4) 縦の長さが 0.75km, 横の長さが 800m の長方形の面積は ha です。

2 次の問いに答えなさい。

(1) 縦 26cm, 横 14cm の長方形のタイルを, すきまのないようにしきつめて, 正方形をつくれます。最も小さい正方形をつくる時, その正方形の 1 辺の長さは何 cm ですか。

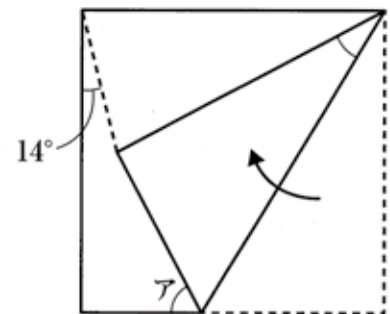
(2) 1.2L のジュースを兄, 弟, 妹の 3 人で分けます。兄は弟の 1.5 倍, 弟は妹の 2 倍になるように分けるとすると, 兄は何 mL もらうことになりますか。

(3) 6 時 18 分に時計の長針と短針のつくる角のうち, 小さい方の角度は何度ですか。

(4) 100 円玉が 3 枚, 50 円玉が 2 枚, 10 円玉が 2 枚あります。この 7 枚のうち 1 枚以上を使ってできる金額は, 全部で何通りありますか。

(5) 270 をわると 18 あまる整数は何個ありますか。

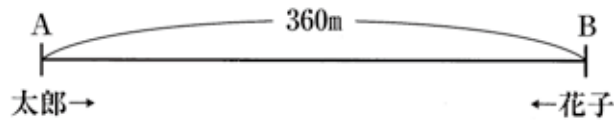
(6) 右の図のように正方形を折り曲げました。
アの角の大きさは何度ですか。



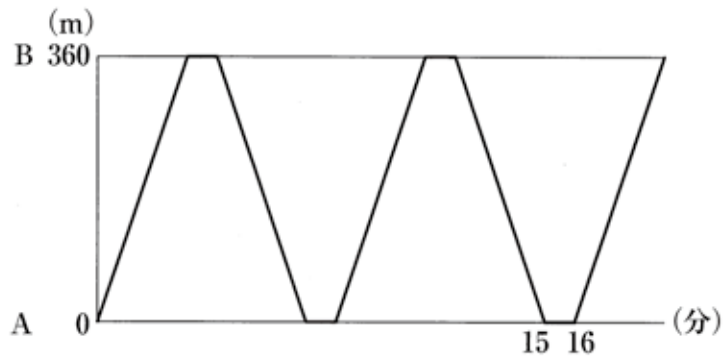
3 仕入れ値が150円の商品を400個仕入れました。1日目は仕入れ値の60%の利益を見込んで定価をつけて売り、2日目は残った商品を定価の2割5分引きの値段で売ると、2日間で仕入れた商品はすべて売り切れ、利益の合計は28200円になりました。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 2日間の売り上げは合計で何円ですか。
- (2) 1日目に売れた商品の個数は何個ですか。

- 4 360m はなれた A 地点と B 地点の間を、太郎さんは A 地点から、花子さんは B 地点から同時に出発し、往復します。



太郎さんは B 地点に着くと 1 分休んでから A 地点に引き返し、A 地点に戻ると 1 分休んでから同じ速さで B 地点に向かうことを繰り返します。花子さんは出発してから毎分 72m で休まず何度も往復します。下のグラフは、2 人が出発してからの時間と、そのときの太郎さんの A 地点からの道のりの関係を表したものです。このとき、次の問いに答えなさい。



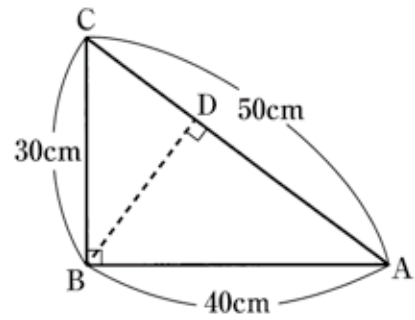
- (1) 太郎さんの進む速さは分速何 m ですか。
- (2) 太郎さんと花子さんが 2 回目にすれちがうのは、出発してから何分何秒後ですか。

- 5** 下のように、奇数を1から順に1段目に1個、2段目に2個、3段目に3個、・・・とならべていきます。このとき、次の問いに答えなさい。

1段目				1					
2段目			3		5				
3段目			7		9		11		
4段目			13		15		17	19	
5段目		21		23		25		27	29
6段目				

- (1) 10段目の右はしの数はいくつですか。
- (2) 10段目にならんだ数の和はいくつですか。
- (3) ある段から10段目までの数をすべてたすと2800になりました。何段目からの数をたしましたか。

6 右の図のような、直角三角形 ABC があります。この三角形の点 B から辺 AC に垂直に下ろした直線と辺 AC の交点を D とし、この三角形 ABC を、辺 AB を軸に 1 回転させてできる立体をア、辺 BC を軸に 1 回転させてできる立体をイ、辺 CA を軸に 1 回転させてできる立体をウとします。このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 図の BD の長さは何 cm ですか。
- (2) アとイとウの体積の比を求めなさい。

以上で問題は終わりです。

2021 年度 入試向け

桃山学院中学校 第2回プレテスト

解答と配点

目 次

解 答

1 国語(50分・150点)……………P. 1

2 算数(50分・150点)……………P. 1

配 点 ……………P. 2

解 答

国 語

- 一 問1 A オ C エ 問2 B ウ D ア
 問3 a エ b イ 問4 自分のことを呼ぶときに使う呼称
 問5 全知 問6 イ 問7 エ 問8 エ
 問9 X 北極探検へ向かう道中 Y (科学者) フランケンシュタイン
 Z 感情やできごと
 問10 エ 問11 ① F ② F ③ T
- 二 問1 手 問2 エ 問3 取られ ~ になる 問4 イ
 問5 イ
 問6 (例) 荻村君との本メンによってクラスの中での立場が悪くなり、一人で鉄棒の
 技を磨くようになったことで、蹴上がりを身につけた (57字)
 問7 エ 問8 エ 問9 ウ 問10 ウ
 問11 X 中心 Y エ 問12 ウ 問13 ア
- 三 (1) ① 民衆 ② 納品 ③ 垂らす ④ ぞうしょ
 ⑤ こくもつ ⑥ きぬ
 (2) ①借 ②移
- 四 (1) ① たい・エ ② とら・イ (2) イ
 (3) ① ㊦ ② ㊧ (4) A イ B ア

算 数

- 1 (1) 31 (2) $0.5\left(\frac{1}{2}\right)$ (3) $2\frac{1}{3}$ (4) 60
- 2 (1) 182cm (2) 600mL (3) 81度 (4) 26通り
 (5) 8個 (6) 62度
- 3 (1) 88200円 (2) 270個
- 4 (1) 分速120m (2) 6分15秒後
- 5 (1) 109 (2) 1000 (3) 6段目
- 6 (1) 24cm (2) 15:20:12

配 点

国 語

一	問 1…各 2 点 問 4…4 点 問 7…4 点 問 10…4 点	問 2…各 2 点 問 5…4 点 問 8…4 点 問 11…各 2 点	問 3…各 2 点 問 6…4 点 問 9…各 2 点	合計 48 点
二	問 1…4 点 問 4…4 点 問 7…4 点 問 10…4 点 問 13…4 点	問 2…4 点 問 5…4 点 問 8…4 点 問 11…各 2 点	問 3…4 点 (完答) 問 6…10 点 問 9…4 点 問 12…4 点	合計 58 点
三	(1)…各 4 点	(2)…各 2 点		合計 28 点
四	(1)…各 2 点 (各完答) (3)…各 2 点	(2)…4 点 (4)…各 2 点		合計 16 点

算 数

1	各 8 点	合計 32 点
2	各 8 点	合計 48 点
3	各 8 点	合計 16 点
4	各 9 点	合計 18 点
5	各 6 点	合計 18 点
6	各 9 点	合計 18 点

2021年度入試向け 第2回プレテスト
解説

1 計算問題

(1) $(136 - 59) \div 11 \times 17 - \{13 \times 7 - (75 - 18) \div 19\} = 77 \div 11 \times 17 - (91 - 57 \div 19) = 119 - 88 = 31$

(2) $36 \times 2.5 \times 39 \div (30 \times 52 \times 4.5) = \frac{36 \times 2.5 \times 39}{30 \times 52 \times 4.5} = \frac{36 \times 25 \times 39 \times 10}{30 \times 10 \times 52 \times 45} = \frac{1}{2} = 0.5$

(3) $0.5 + (\square - 0.75) \times \frac{2}{19} = \frac{2}{3}$ $(\square - 0.75) \times \frac{2}{19} = \frac{2}{3} - 0.5$

$$\square - 0.75 = \frac{1}{6} \div \frac{2}{19} = \frac{19}{12}$$

$$\square = \frac{19}{12} + 0.75 = \frac{7}{3} = 2\frac{1}{3}$$

(4) $0.75\text{km} \times 800\text{m} = 750\text{m} \times 800\text{m} = 600000\text{m}^2 = 60\text{ha}$

2 小問集合問題

- (1) できる正方形の縦の長さは 26 の倍数, 横の長さは 14 の倍数になる。

縦…26cm, 52cm, 78cm, 104cm, 130cm, 156cm, 182cm, …

横…14cm, 28cm, 42cm, 56cm, 70cm, 84cm, 98cm, 112cm, 126cm, 140cm, 154cm, 168cm, 182cm, …

よって, 最も小さい正方形の 1 辺の長さは 182cm

- (2) 妹を基準にすると弟は 2 倍, 兄は
- $2 \times 1.5 = 3$
- (倍), 3 人の合計は,
- $3 + 2 + 1 = 6$
- (倍)だから妹は,
- $1.2 \div 6 = 0.2$
- (L) 兄は,
- $0.2 \times 3 = 0.6$
- (L) = 600mL

- (3) 6 時ちょうどに短針は長針より,
- $30 \times 6 = 180$
- (度)前にあり, 18 分間で毎分 6 度進む長針が毎分 0.5 度進む短針に,
- $(6 - 0.5) \times 18 = 99$
- (度)追いつくから,
- $180 - 99 = 81$
- (度)

- (4) 100 円玉が 3 枚を 50 円玉 6 枚として考えると, 50 円玉 8 枚と 10 円玉 2 枚の使い方になる。50 円玉の使い方は,
- $8 + 1 = 9$
- (通り), 10 円玉の使い方は,
- $2 + 1 = 3$
- (通り), 1 枚も使わない 1 通りを除いて,
- $9 \times 3 - 1 = 26$
- (通り)

- (5)
- $270 - 18 = 252$
- より, 求める数は 252 の約数で 18 より大きい。

252 の約数は, 1, 2, 3, 4, 6, 7, 9, 12, 14, 18, 21, 28, 36, 42, 63, 84, 126, 252

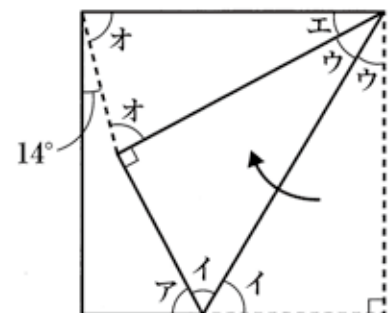
だから, 下線の 8 個

- (6) 右の図のように角イからオを決めると,

角オ = $90^\circ - 14^\circ = 76^\circ$ 角エ = $180^\circ - 76^\circ \times 2 = 28^\circ$

角ウ = $(90^\circ - 28^\circ) \div 2 = 31^\circ$ 角イ = $90^\circ - 31^\circ = 59^\circ$

角ア = $180^\circ - 59^\circ \times 2 = 62^\circ$

**3** 割合に関する問題

- (1) 2 日間の売り上げは, 仕入れ値の合計に利益の合計を加えた,
- $150 \times 400 + 28200 = 88200$
- (円)

- (2) 定価は,
- $150 \times (1 + 0.6) = 240$
- (円), 2 日目の売価は,
- $240 \times (1 - 0.25) = 180$
- (円)

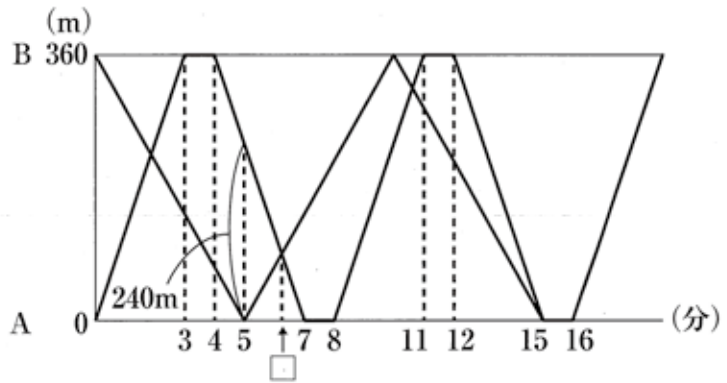
400 個すべて 180 円で売れたときの売り上げと実際の売り上げの差は,

$$88200 - 180 \times 400 = 16200$$
(円) 1 日目に売れた個数は, $16200 \div (240 - 180) = 270$ (個)

4 速さに関する問題

(1) グラフより太郎さんは、 $15-1 \times 3 = 12$ (分)で、 $360 \times 4 = 1440$ (m)進んでいるから速さは毎分、 $1440 \div 12 = 120$ (m)

(2) 毎分 72m で進む花子さんは AB 間を、 $360 \div 72 = 5$ (分)で進むから、その様子をグラフに加えると右のようになる。太郎さんと花子さんが 2 回目にすれちがうのはグラフの□の時間で、5 分後に 2 人は、 $360 - 120 \times (5 - 4) = 240$ (m)はなれ



ているので、その後はじめて出会うのは、 $5 + 240 \div (120 + 72) = 6.25$ (分) = 6 分 15 秒後

5 規則性に関する問題

(1) 10 段目までにならぶ数の個数は全部で、 $1+2+3+4+5+6+7+8+9+10=55$ (個)
10 段目の右はしの数 は 1 から数えて 55 番目の奇数だから、 $2 \times 55 - 1 = 109$

(2) 9 段目までにならぶ数の個数は全部で、 $1+2+3+4+5+6+7+8+9=45$ (個)
10 段目の左はしの数 は、 $45 + 1 = 46$ (番目)の奇数だから、 $2 \times 46 - 1 = 91$

10 段目にならぶ数の和は、 $91 + 93 + 95 + 97 + 99 + 101 + 103 + 105 + 107 + 109 = 1000$

(3) $1 = 1 \times 1$, $1 + 3 = 4 = 2 \times 2$, $1 + 3 + 5 = 9 = 3 \times 3$, \dots のように 1 から順にたした奇数の和は、たした個数を 2 回かけ合わせた数になる。1 段目から 10 段目までの数をすべてたすと、 $55 \times 55 = 3025$ これより、 $3025 - 2800 = 225 = 15 \times 15$ 少ないから 15 個目までの奇数がたされていないことがわかる。 $15 = 1 + 2 + 3 + 4 + 5$ より 5 段目までがたされていないから、たしたのは 6 段目から 10 段目までである。

6 立体図形

(1) 三角形 ABC の面積は、 $40 \times 30 \div 2 = 600$ (cm^2)で、BD は三角形 ABC の底辺を AC としたときの高さだから、AC は、 $600 \times 2 \div 50 = 24$ (cm)

(2) それぞれの体積はアが、 $30 \times 30 \times 3.14 \times 40 \times \frac{1}{3} = 12000 \times 3.14$ (cm^3),
イが、 $40 \times 40 \times 3.14 \times 30 \times \frac{1}{3} = 16000 \times 3.14$ (cm^3), ウが、 $24 \times 24 \times 3.14 \times 50 \times \frac{1}{3} = 9600 \times 3.14$ (cm^3)
体積の比は、 $12000 \times 3.14 : 16000 \times 3.14 : 9600 \times 3.14 = 12000 : 16000 : 9600 = 15 : 20 : 12$

□ 説明的文章

問1 熟語の構成についての問題です。漢字二字の熟語において、その二つの漢字にどのような関係があるのかを考えます。A「研究」の「研」は、「とぐ」「みがく」という意味の漢字であり、ものごとの道理をきわめるという意味があります。また、「究」にも「きわめる」という意味があります。よって、A「研究」は、似たような意味の漢字を重ねた熟語だと考えられます。C「読者」は、「読む」＋「者」という意味であり、上の漢字が下の漢字を修飾している熟語です。ア「市営」は、「市が営む」という意味になり、上の漢字が主語で、下の漢字が述語になっている熟語です。イ「作文」は「文」を「作る」で、下の漢字が上の漢字の目的語となる熟語です。下の漢字が上の漢字を修飾するときに「に」で修飾するときと、「を」で修飾するときの二種類があります。ウ「天地」は対照的な意味を持つ二字を組み合わせた熟語です。エ「再会」は「再び」＋「会う」という意味であり、上の漢字が下の漢字を修飾している熟語です。オ「基本」の「基」には「もと」という意味があり、「本」にも「もと」という意味がありますから、「基本」は似たような意味の漢字を重ねた熟語です。よって、A「研究」と熟語の構成が同じものはオ「基本」であり、C「読者」と同じものはエ「再会」となります。

問2 語句の本文中での意味を答える問題です。B「ニュアンス」には、「言葉などの微妙な意味合い」という意味と、「色彩や音色の微妙な差異」という意味があります。前者の方は、「ほめられるとしても、『美しい』と『きれい』では、少しニュアンスが違って感じられる」のように使います。本文中では「より正確なニュアンスをつかみ取るために辞書を何度も引き直します」と使われているため、「言葉などの微妙な意味合い」という意味に一致する、ウ「言葉の細かな意味合い」が正解です。D「逆境」とは「逆」の「境遇」、つまり、「順調にすすむときとは逆のうまくいかない」「環境や状況」という意味です。よって、ア「自分の力では思うようにいかないようなつらい場面」が正解です。イヤエのような場面も逆境と言えなくはありませんが、逆境という言葉にイヤエのような限定的な意味はありません。また、ウは逆境という言葉の意味とは外れています。

問3 空所にあてはまる語を選ぶ問題です。空所の前後の内容に着目して、正しいものを選びましょう。空所の前には「ここでは『一人称の語り手』に注目してみましよう。一人称とは、〜とあり、aのあとでは『私』という一人称を使って、展開するのが一人称小説です」とあります。aの前の部分で述べていることを、あとの部分でまとめているため、aにはエ「つまり」があてはまります。bの前の部分では、「物語世界の中では、『私』がないところや見ていないところでも時間は進み、さまざまなきません」とあります。前の部分で述べたことを、あとの部分で補足しているため、bにはイ「そもそも」があてはまります。

問4 文章中の言葉の意味の理解に関する問題です。「一人称」という言葉を説明している部分を本文中から探します。——①「一人称」の二つあとの段落に、「二人称とは、『私・僕』など、自分のことを呼ぶときに使う呼称ですね」と説明されていますので、設問の指定通り「自分のことを呼ぶときに使う呼称」という十五字をぬき出します。

問5 文章中の言葉の意味の理解に関する問題です。「神のようにすべてを知っている」という言葉と同じ意味の言葉を本文中から探します。「三人称の語り手は、神のようにすべてを知っている存在です」とあることから、この「神のようにすべてを知っている」というのは、三人称の語り手についての説明です。また、「すべてを知っている」という言葉を熟語で表現すると「全知」となります。こういったことをヒントに「三人称の語り手」について書かれている部分を本文中から探します。すると、この「全知」という言葉が、1ページ目の下段真ん中あたりに「三人称小説の全知の語り手とは違って」と書かれていますので、ここを答えます。「全知全能の神」という言い回しを聞いたことがあると、この問題に答えやすくなります。

問6 内容理解の問題です。筆者の見解の理由となる部分を本文中から見つけ、その理由として適切でないものを選びます。——③に「つまり」とあるので、それまでの内容をまとめた内容であるとわかります。直前の二文に『私』は嘘をつくこともあります」や「考え方のくせや思い込みもあれば、価値観の偏りもあります」とあるので、これをふまえるとエの内容は正しいです。さらに、——③をふくむ段落が「しかも」という接続語から始まることに着目すると、直前の段落の内容も受けていることがわかります。このことから、——③の一つ前の段落にある「物語世界の中では、『私』がいないところや見ていないところでも時間は進み、さまざまなきごとが起こる」とことや、『私』は自分以外の登場人物の心の中を知ることにはできません」という内容にア、ウは合致しているとわかります。よって、イが適切でないと選ぶことができます。

問7 内容理解の問題です。まずは「分析の方法はそれだけではありません」の「それ」の指す内容をとらえ、そして「それ」以外にどのような「分析の方法」が本文に述べられているかを読み取り、述べられていないものが書かれた選択肢を見つけてみます。ここでの「それ」とは、——④の直前に書かれた「語り手に注目すると、物語を深く理解するためのさまざまな手がかりがえられますが」の「語り手に注目する」の部分です。筆者はここまでで「語り手に注目」した物語の「分析の方法」についてくわしく語ってきましたが、まだ「分析の方法」は他にもあると述べているのです。その「分析の方法」については、——④の次の段落と二つあとの段落に書かれています。選択肢のア、イについては、——④の次の段落に述べられています。ウについては——④の二つあとの段落に「作家の生きた時代背景などをふまえて、社会へのどういったメッセージが込められているかを探る」と書かれています。エは「作家の伝記資料や手紙、日記などをもとに」の部分は、——④の二つあとの段落に「作家の伝記資料や手紙、日記などを調査することもあります」という部分と合致しますが、エの後半の「作品の評価が変化している原因の分析」の部分が、本文には見当たりません。この段落の後半にある「例えば」以降の部分は、社会へのメッセージについての例示です。よって、エの内容が本文には述べられていない「分析の方法」です。

問8 内容理解の問題です。筆者は、「優れた古典作品は、どこまで深読みしても、まだまだ読める、どこまでも読める、というものばかり」であり「そうした古典作品を読むことは、私たちに人間としての力を与えてくれ」と述べています。次に、筆者がどのように評価している古典作品に備わっている力について書かれている部分を探していくと、——⑤の二つあとの段落に『人間とは何か?』を深く描く物語には、現実を生きる人間を救う力」があるという一文が見つかります。『人間とは何か?』を深く描く物語」とは、「優れた古典作品」のことなので、エが正解となります。選択肢ア、イ、ウはいずれも「優れた古典作品」に備わっている力として文章中で述べられていません。

問9 内容理解の問題ですが、「フランケンシュタイン」という小説に登場する語り手とその特徴を表にまとめ

た出題形式となっています。本文中では語り手ごとに段落を分けて特徴を述べていますので、その部分に着目して読み取るようにします。Xは、語り手「ウォルトン」についての出題です。ウォルトンについては2ページ目の上段に「最初に出てくる語り手」として説明されています。その中で、「北極探検へ向かう道中に出会った人物である科学者フランケンシュタインから聞いた奇妙な話」という記述がありますので、Xには、この「北極探検へ向かう道中」の十字があてはまります。Yはこの「フランケンシュタイン」という小説に登場する語り手であり、「ウォルトン」でも「怪物」でもない語り手を答える問題です。ですから、Yには本文中で「ふたり目の語り手」として説明されている「科学者」フランケンシュタインがあてはまります。Zは、3人目の語り手としての「怪物」についての出題です。設問中の表からZには、「怪物だけが知っていた」ことがあてはまると考えます。本文中では、3人目の語り手である怪物について説明した部分に、「怪物本人しか知りえなかった感情やできごとを通して語ります」とあるので、この「感情やできごと」の七字をぬき出して答えます。

問10 段落の関係を読み取る問題です。省略されている段落の内容を理解し、どの部分に挿入すべきかを考えます。省略された段落は「一人称小説を読むこと」とはどういうことであるかを、一文で説明した段落です。一文のみで段落を構成しているということは、この文が「一人称小説を読むこと」のまとめにあたるということです。ですから、この段落の前後に、一人称小説を読むことについてのくわしい説明がないかというのではないかと予想できます。そういったことを考えながら、この段落を挿入する場所を考えます。本文中のAの前の段落は、「一人称小説のおもしろいところはわかることです」という一文のみで構成されています。この文も同じように二文で「一人称小説」についてまとめて書いている部分ですから、この直後に、もう一度「一人称小説」についてまとめた段落が入ることは考えられません。イやウの前後の段落は、一人称の語り手である「私」について説明した段落です。説明の途中に、まとめの段落が入ることは考えられないので、イ、ウは違います。エの前にある三つの段落は、すべて一人称の語り手である「私」について説明した段落です。エに省略された「一人称小説を読むこと」のまとめにあたる段落を入れることで、その前にある三つの段落の内容をまとめることができます。よって、エが正解です。

問11 本文の内容を理解して、それぞれの文の正誤を考える問題です。①～③の文が、それぞれ、本文中のどの部分に対応しているかを探し、正誤を考えるようにするとよいでしょう。①はこの文章の冒頭部に書かれた内容についての文です。本文では「今でも原文の読み込みにはたくさんの時間と労力がかかります」と書かれています。筆者はイギリス文学の研究をしているわけですから、この「原文」とは「英語」のことです。①には「日本語で書かれた文章を読むことには時間がかかる」と書かれています。日本語に対する記述は本文には見当たりません。よって、①は正しくありません。②のウォルトンについては、2ページ目の上段、および下段に記述があります。②にある、ウォルトンの「判断力」については述べられているのは下段です。本文には「必ずしも正しい判断力を持った人物ではない」と書かれています。その分を差し引いて、ウォルトンの語り手に耳を傾ける必要がある」とも書かれています。このことは、②の内容とは違っています。③の文学研究者の「使命」については、最後の段落で述べられています。この最終段落の内容をそのまま言いかえたものが③の文の内容ですから、③は正しいと言えます。

三 文学的文章

問1

語句の知識に関する問題です。Xの前後の文脈から、二か所あるXに共通する一字を考えます。一つ目のXは、「Xに馴染む」という表現にあてはまる一字です。「馴染む」には、慣れ親しむという意味があります。馴染んでいるのは「メンコ」ですから、この部分だけでは「手」「体」「自分」など様々な語が考えられます。二つ目のXは「Xの握り」という表現にあてはまる一字です。それを気にしながら蹴上がりという鉄棒の技に取り組んでいます。鉄棒をするときに気になる握りは「手」ですから、ここには「手」が入ると考えられます。そして、一つ目のXに「手」をあてはめても意味が通るため、Xに入る漢字一字は「手」であると答えられます。

問2

様子などをくわしく説明する言葉に関する問題です。Yが使われている場面の様子から判断します。「みんな」が見ているのは、校庭でひとりきりで鉄棒をしている三男です。このとき、三男は荻村君とのメンコの件で、「みんな」から遠ざけられていました。そして、「みんな」は校庭で荻村君を中心にドッジボールをしているのです。しかし、それまで仲良くしていた三男のことを「みんな」は完全に無視することができず、三男のことが「気になる」ので見ているのです。そういった場面を想像して考えると、はっきりとわかる形で見つめるわけにはいかないけれど、つい見てしまうというエ「チラチラ」があてはまることがわかります。

問3

文章中の言葉の意味の理解に関する問題です。「本メン」という言葉を説明している部分を本文中から探します。——①のあとに、三男は「僕はちゃんとルールを説明しました。僕たちがやっているのは本メンで」と語っています。ここから、「本メン」とはメンコにおけるルールであることがわかります。そして、「取られたメンコは本当に相手のものになるんだぞって」と三男が引き続き語っていることから、「取られたメンコは本当に相手のものになる」ということが「本メン」のルールであることがわかります。この「取られたメンコは本当に相手のものになる」という十九字をぬき出すと、「く」というもの。にうまくつながるので、最初と最後の「取られ」「になる」を答えます。

問4

場面の様子に関する問題です。——②のあとで、僕はどのような状況におかれたのかを読み取ります。橋本先生に「メンコはやめておけ」と言われ、「メンコ」を禁じられてしまった三男ですが、「ことは済まなかった」のです。このあとの場面で、本メンにより荻村君からメンコを三十枚取ってしまった三男は、そのことを荻村君によりクラスのみんなに言いふらされてしまったらしく、「それって、泥棒と同じじゃねえ?」「二十枚はひどいよなあ」といつも遊んでいる男子たちには背中を向けられ、女子には「軽蔑した目」で見られ、そして、「昼休みも放課後も誰も遊んでくれなく」なるという状況になります。このことが、「ことは済まなかった」の内容であり、選択肢の中でこの状況を説明しているものは、イです。なお、アの「荻村君の母親から、泥棒あつかいされる」という部分、ウの「荻村君がクラスの女子の人気を集め」という部分、エの「メンコを返すはめになった」という部分は、本文から読み取ることができないため、いずれも違っています。

問5

人物像の理解と主人公の心情に関する問題です。登場人物の人物像は、その人物の言動や心情の描写だけでなく、その人物のまわりの人物の描写にも気をつけて読み取ります。ここでは、三男が——③「斎藤

君」をどのような人物だと考えていたかを問われているため、三男の心情を読み取ることも求められています。荻村君によりクラスのみんなの変化を感じた三男は、荻村君を問い詰めることを「余計に立場が悪くなりそうだった」のでやめたのですが、その直後に「悪いことに」斎藤君がその場にいない、という記述があります。ということは、斎藤君がその場にいることは、三男にとって「悪いこと」ではなく「良いこと」なのです。ここから、「もし、斎藤君がいれば、立場が悪くなることを回避できるかもしれない」と三男が考えていたことがわかります。なぜなら、斎藤君は自分の味方をしてくれることが期待できたからです。よって、イが適切であるとわかります。

問6

登場人物の言動の理由をとらえる問題です。このときの三男の状況や心情をふまえ、指定された語句を使って、――④のように頭の中でつぶやいた理由を説明します。「おまえ」とは「荻村君」、「おかげ」とは鉄棒の蹴上がりができるようになったことへの手助けです。なぜ、蹴上がりができるようになったことが、荻村君のおかげなのかは次のように考えられます。

- ① 荻村君からメンコを三十枚取ってしまった。
- ② 荻村君がクラスの中でそのことを言いふらした。
- ③ 三男の立場が悪くなり、誰も遊んでくれなくなった。
- ④ 誰も遊んでくれないので一人で鉄棒をするしかなく、蹴上がりの練習をすることにした。
- ⑤ 蹴上がりができるようになった。

このことを指定語句「蹴上がり」「本メン」「立場」を使って、六十字以内にまとめます。

例…※三男は、荻村君との本メンによってクラスの中で立場が悪くなり、一人で鉄棒の技を磨くようになったことで、蹴上がりを身につけたから。

問7

登場人物の心情理解の問題です。「友だちに冷たくはできない」のは、三男が「どのような状況」に置かれていたからなのかを考えます。「本音を言えば、せつかく自分しかできるものがない蹴上がりを、何日かは「自分だけの技にしておきたかった」のですが、最も自分に味方してくれそうな斎藤君を敵に回すわけにはいかないので、「冷たくはできない」かったのです。それは、クラスメイトが荻村君と一緒に遊んでいる、誰も三男をドッジボールに誘ってこれないという状況があったからです。三男は、蹴上がりのコツを教えるということをしつかけに、クラスの友だちとの仲を取り戻そうと考えたのです。よって、適切な選択肢はエです。ア、イ、ウはどれもこの時点での状況を説明したのですが、「友だちに冷たくはできない」と三男が考えた理由としてはあてはまらないため、適切ではありません。

問8

語句の知識と登場人物の心情理解の問題です。まずは、このときの三男の心情をとらえ、その心情にふさわしい語句を選びます。三男は、「自分の技を見られないのは残念だったが、友だちの表情がすべてを物語っていた」と感じています。三男が蹴上がりを決めたときの友だちの表情については記述がありませんが、「山田君、すげえ」「もう一回、やってみてよ」「おれにもその技を教えてくださいよ」「おまえ、塚原や監物み

「たいだな」といった発言や、「みんなと一緒に校門をでた」という描写から、友だちが三男のことを称賛している様子を読み取ることができます。三男は「二日の出来事を思い返した」中で、自分をほめたたえるような友だちの表情を思い浮かべていたのです。そして、「オリンピックの舞台でウルトラCの技を決める自分の姿を想像しながら」「深い眠りに落ちていった」という描写からは、とても満足した一日であったと感じていることがわかります。この心情を表した語を選択肢の中から探します。エ「公心」には「期待通りにいって満足すること」という意味がありますので、このときの三男の心情に最も適切なものだと判断できます。

問9

登場人物の言動の理由をとらえる問題です。橋本先生が三男に「教室に残っているように」と伝えた理由は、このあとの場面を読むことで理解できます。教室で待っていた三男に、橋本先生はいろいろと話しかけます。しかし、橋本先生の本意は、本文の最後の「先生の知り合いのコーチに、おまえを紹介しようと思うんだ。これを、ご両親に渡してくれ」にあります。よって、ウが適切です。アは、たしかに橋本先生が話したことですが、「教室に残っているように」と伝えたことこの理由としては適切ではありません。イは、先生が三男の父の体格を確認しようとしていることは読み取れますが、それを蹴上りが成功した理由とはしていないので適切ではありません。エは、本文からは読み取れない内容ですから違います。

問10

登場人物の言動の理由をとらえる問題です。橋本先生がどのような意図で質問したのかを考え、「うれしそうに」うなずいた理由を考えます。橋本先生は、蹴上りの完成度をほめた上で、三男の父や母の体格についてたずねています。「おとうさんは身長はどのくらいだ？ おかあさんは、そんなに大きくなかったよな」という表現と、父は「一六〇センチくらい」という三男の答えに「うれしそうに」した様子から、お父さんの体格が小柄であることを期待していたことがうかがえます。橋本先生は、三男を「知り合いのコーチ」へ紹介したいと話していますが、文脈から、「知り合いのコーチ」とは、おそらく体操のコーチであると判断できます。これらのことから、橋本先生がうれしそうにした理由は、三男が今後、父に似たとしても母に似たとしても、小柄な体格であろうということが予想できたため、自信を持って体操のコーチに紹介できると考えたからだとわかります。なお、――⑤の二行あとに「学年で一番背が高い斎藤君が高鉄棒に飛びついた。体を振ろうとするが、なめらかさが無い。心配したとおり、斎藤君は蹴上りに失敗した」とあり、背が高いことが鉄棒競技には不向きであることを読み取ることができます。これらのことから、体操選手は体が小さい方が有利であるということを知らなかったとしても、ウの選択肢が最も適切であることが判別できます。ア、イは、父親の体格を気にしている橋本先生が「うれしそうに」うなずいた理由としては不十分であるため、適切ではありません。エは、三男が質問に答えている場面でうれしそうにする理由ではないため、違います。

問11

人物像の理解の問題ですが、生徒の会話を用いた特徴的な出題形式となっています。ここでは生徒たちが話題にしている「荻村君」の言動が、本文中にどのように述べられているかに着目して考えます。会話の中で、守屋さんは「校庭でドッジボールをしている場面でも『荻村君』がその場のXになっ

ると、酒井さんは『荻村君』をXにしてドッジボールをしている」と述べています。そこで、荻村君がクラスの友だちとドッジボールをしている場面を本文から探すと、7ページ目の下段に、「校庭ではクラスメイトが荻村君を中心にドッジボールをしている」という記述が見つかります。よって、Xに

はこの「中心」の二字があてはまることがわかります。また、酒井さんは「三男の鉄棒が友だちの注目を集めているとき、つまらなそうにしている『荻村君』から、Yを読み取りました」と述べています。この発言に対応した本文中の記述を探すと、『山田君、すげえ』と口々に言いながら、クラスメイトが走ってきた」という記述のあとに、「ボールを持った荻村君がつまらなそうに立っていた」という部分が見つかります。さらに、三男が何度も蹴上がりを見せたあとで、「やがて日が暮れてきて、みんなと一緒に校門を出た」という場面では、「荻村君はいつの間にかいなくなっていた」という記述があります。これらのことから、三男が友だちの中心になったことに面白くない感情をいんでいる荻村君の様子を読み取ることができます。よって、YにはEがあてはまりません。

問12

人物像の理解の問題です。橋本先生の言動が、本文中にどのように述べられているかに着目して考えます。橋本先生を理解するためには、三男が橋本先生をどうとらえているかを読み取る必要もあります。橋本先生は、文章の最初と中盤^{ちゅうばん}、そして最後に登場します。最初の部分では、「山田がそんな気になった理由も分からなくはないが、今回はチトまずかったな」と三男を論じています。そんな橋本先生を三男は「なにもかもお見通しだ」と感じています。ここからは、三男の性格を理解しながらも、言うべきことはきちんとするという姿が読み取れます。中盤では、蹴上がりについて、「山田の運動神経なら、少し練習すればできるんじゃないか」と言いつつも、技を直接指導することは「校庭の鉄棒では危ない」と断っています。しかし、「しつこく粘^{ねば}」った三男に対し、蹴上がりのコツを教えています。ここからは、三男の長所をよく理解しているという姿が読み取れます。最後の場面では、三男の技の完成度をほめ、体操のコーチへ紹介したいと話しています。ここからは、三男の将来に期待している姿が読み取れます。よって、橋本先生の人物像としてあてはまるものは、ウであると判断できます。アの「人一倍心配している」という部分、イの「やんちゃな部分を直したい」という部分、エの「三男と荻村君の仲を取り持つ」という部分については、本文からは読み取ることができないので違っています。

問13

内容理解の問題です。選択肢の文が、それぞれ、本文中のどの部分に対応しているかを探し、正誤を考えようにするとういでしょう。アの「荻村君は、三男から説明された本メンのルールに同意した」の部分は、「荻村君がそれでもいいって言ったから、仲間に入れたんです」という記述から、正しいことがわかります。また、「自分が買ったばかりのメンコを三十枚とられたことへの不満をクラスメイトに伝えた」の部分も、「三十枚はひどいよなあ」と男子たちが小声で話していたこと、女子が「軽蔑した目」で三男を見たことから、正しいと推測できます。よって、アは本文の内容に合っています。イは「ミュンヘンオリンピックで体操選手が見せていた『コウモリ』や『飛行機』のような技」の部分が、本文からは読み取ることができません。よって、イは違います。ウは「絶対にやらせたくないと思っていた」の部分の問題となります。橋本先生は、蹴上がりを教えてほしいと「しつこく粘」った三男に、結局コツを教えているため、「絶対にやらせたくない」とまでは思っていなかったことがわかります。よって、ウは違います。エは、選択肢の文では、「内心は蹴上がりをいつまでも自分だけの技にしておきたいと思っていた」とありますが、本文では「何日かは蹴上がりを自分だけの技にしておきたかった」と書かれているので、違います。

三 漢字・語句

- (1) 漢字の読み書きの問題では、ていねいに書く意識を持ちましょう。雑で読めない文字の場合は正答になりません。①「民衆」の「衆」は、筆順にも注意が必要な漢字です。②「納品」の「納」は「おさ(める)」「と」いう訓読みがあります。「おさめる」という読みの漢字は「納める」のほかに「収める」「治める」「修める」といくつかありますので、それぞれの使い方をよく覚えておきましょう。③「垂らす」の「垂」も筆順に注意が必要な漢字です。正しい筆順で書けるように練習しましょう。④「ぞうしよ」の「蔵」は、「所蔵」「冷蔵」などの熟語で使われ、たくわえるという意味があります。⑤「こくもつ」を「こくぶつ」と読まないようにしましょう。⑥「絹」は、蚕が作るまゆから作られた布のことです。

- (2) 同訓異字についての問題です。新しい漢字を覚えるときには、その漢字の意味も覚え、代表的な熟語や使用例も言えるようにしておきましょう。①役目を「かす」は、「課す」と書きます。「課」には、わりあてるという意味があります。友だちに消しゴムを「かす」は「貸す」です。「借」は「借りる」です。「貸す」と「借りる」は、使い方がややこしい漢字です。「借金」という言葉を真確に考えるとわかりやすいでしょう。よって、使われていない漢字は「借」です。②スクリーンに「うつす」は「映す」と書きます。スクリーンに映ったものを「映像」と言います。こうした熟語をヒントに考えるとわかりやすいでしょう。文字をていねいに「うつす」は「写す」です。「書き写すこと」という意味の「書写」という熟語があります。よって、使われていない漢字は「移」です。

四 語句・言葉のきまり

- (1) ことわざの知識の問題です。ことわざの中にはおもしろい言い回しをするものがたくさんあります。日常生活の中で耳にした言い回しの意味を気にするようになり、ことわざの本を読んだりして、積極的に覚えましょう。①は「くさってもたい」です。この「たい」は魚の「鯛」です。鯛は高級魚とされていますので、たとえくさっていたとしても、すばらしい魚であるというところから、ことわざとしてエの意味で使われます。②は「はりこのとら」です。「はりこ」とは、紙でできた作り物のことを指します。見せかけだけで、中身がないということから、ことわざとしてイの意味で使われます。

- (2) 四字熟語の知識の問題です。①は「十人十色」で、十人いれば好みなどが同じ色ではなく、みんなそれぞれちがうということから、「人によってそれぞれちがう」という意味を持つ四字熟語です。②は「一石二鳥」で、一つの石を投げたら二羽の鳥にあたって、両方手に入れることができたということから、「一つのこと」で二つの利益を得ること」という意味を持つ四字熟語です。③は「一心不乱」で、「心を一つに集中して、他に気をとられないこと」という意味の四字熟語です。④は「朝三暮四」です。ある人が、飼っていたサルに、えさとなる実を、「朝に三つ、夜に四つあげる」と言ったらサルが怒りました。そこで、「朝に四つ、夜に三つあげる」としたらサルは喜びました。この故事から「朝三暮四」というのは、「目先の違いに気を取られ、結局は同じことであることに気づかないこと」という意味の四字熟語です。①から④までの空所にあてはまる数字を合計するとイの17となります。

- (3) 文節の係り受けの問題です。文節がどこにかかるかは、その文節とかかる文節だけをつなげてみて、うまく意味が通るかどうかを考えるとよいでしょう。①の「学校では」は、㊤「見られる」にかかります。②の「昨夜」は㊦「聞こえた」にかかります。いつ「聞こえた」音なのかを「昨夜」がくわしく説明しています。

(4) A 敬語の用法の問題です。敬語には尊敬語・謙譲語・丁寧語の三つがあります。尊敬語と謙譲語は動作主が誰かによって使い分けられます。設問の会話で始めて話している人は花屋さんに買い物に来たお客さんです。店員と客という立場では、客の方が立場が上かもしれませんが、お客さんであっても、あまりしつかりとした関係ができていない相手である店員さんに対しては、丁寧な言葉で話すことが一般的です。ここでは、お客さんが「花束を作ってほしい」とお願いしています。花束を作るのは相手である店員さんですが、「作ってもらう」のはお客さんです。敬語を使わなければ「作ってもらえますか」とたずねるわけですから、「作ってもらう」の謙譲語を正しく使っているイが適切な表現です。アは「お作りになる」という尊敬語を使っていますが、「なられる」の部分が誤りです。ウの「いたたかれる」は謙譲語の「いたたく」が受け身、または尊敬表現になってしまっているので間違いです。エも「お作りする」という謙譲語に「される」という受け身、または尊敬の表現がついているので間違いです。

B 次に話している人は店員さんです。店員さんは、「申し訳ありません」とお客さんの申し出を断っています。お客さんの申し出に対して行動を起すのは自分ですから、ここでもやはり謙譲語を使います。正しく謙譲語が使われているのはアです。「お引き受けする」は「引き受ける」という言葉に「お」と「する」をつけた謙譲語です。また、「いたしかねます」は「できません」の謙譲語です。この二語が合わさっているのがアであり、謙譲語として正しい表現です。イは「作る」という言葉に「お」と「なる」をつけた尊敬語となってしまうので違います。ウは丁寧語を使って答えてはいますが、否定するときに「できるはずがない」という断定的な言い方をするのは失礼な言い方であり、相手を大事にする気持ちが伝わらないので、敬語とは言えません。エは「断る」という言葉に「お」と「なる」をつけた尊敬語となってしまうので違います。

2021年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日) 成績参考資料

【プレテスト全体結果】

平均得点

教科	得点
国語	94.2
算数	66.1
国算計	160.3

受験者数	385
欠席者数	88

【6年選抜コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	国算計	
A(合格安全圏)	221	39	119.5	116.8	236.3	66.1
B(合格可能圏)	205	39	109.9	103.2	213.1	61.2
C(有望圏)	185	42	105.4	88.5	193.9	57.1

【6年進学コース】

合格可能性	得点ライン	人数	平均点			国算計偏差値 平均
			国語	算数	総合	
A(合格安全圏)	192	105	112.1	105.5	217.6	62.2
B(合格可能圏)	176	46	105.8	76.6	182.5	54.7
C(有望圏)	159	50	100.1	67.7	167.8	51.6

※表中の数値は、A・B・Cそれぞれの幅に入っている受験生の人数・平均点等を示しています。

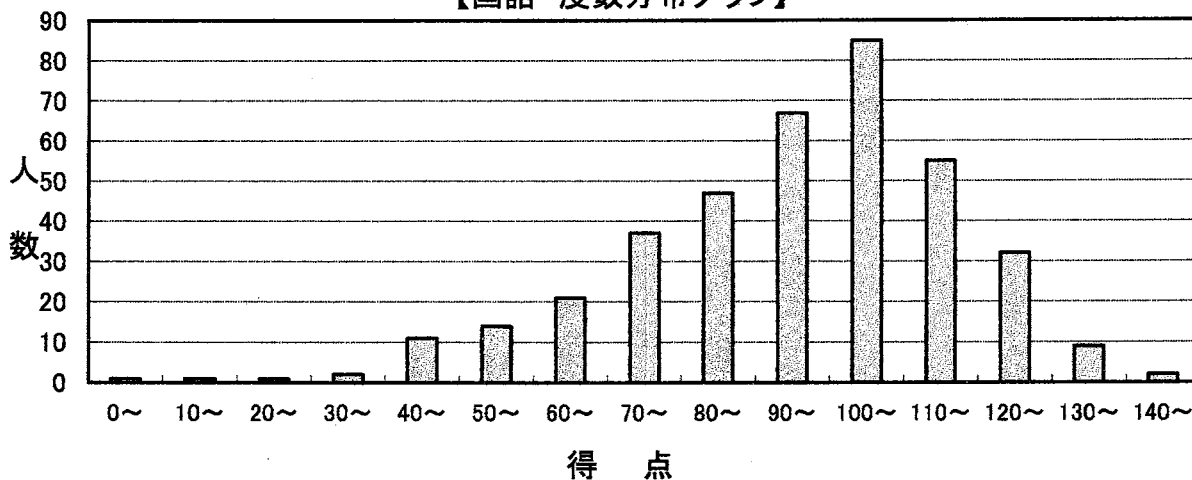
2021年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日) 合格判定基準詳細

判定	内 容	2科目プレテストの基準点	
		選抜コース	進学コース
A判定 (合格安全圏) 合格率 80%以上	現在の国語・算数の実力から見れば、A方式の入試はほぼ安全圏です。 ただし、A方式入試には理科・社会もあります。理科・社会の得点も合格には大きな影響を及ぼします。国語・算数に関しては、今の調子を維持し、体調管理にも気を配り、万全の態勢で入試に臨んでください。油断は禁物です。	221/300	192/300
B判定 (合格可能圏) 合格率 80%~50%	現在の国語・算数の実力から見れば、A方式の入試における「合格」の可能性は大いにあります。この実力を入試本番までにさらに高めるように、より一層の努力を期待しています。ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。 入学試験には、「自信」をもって臨んでください。また、ケアレスミスが敗因になることもありますので、十分注意してください。	205/300	176/300
C判定 (有望圏) 合格率 50%~20%	現在の国語・算数の実力から見れば、A方式の入試においては、合格圏内に入るには今後の努力が必要です。国語・算数に関しては、これまでの学習を振り返って、自分の弱点を見つけ、その補強に努めて下さい。これからの頑張り次第では、十分「合格」をねらえます。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が得意か不得意かにより合否は大きく影響されます。理科もしくは社会が得意な生徒は、限りなく合格に近づけます。	185/300	159/300
D判定 (努力圏) 合格率 20%以下	現在の国語・算数の実力から見れば、A方式の入試においては、「合格」するためには、かなりの努力が必要です。 ただし、A方式には理科と社会の試験があります。理科もしくは社会が非常に得意な生徒は、合格する可能性もあります。	/	/

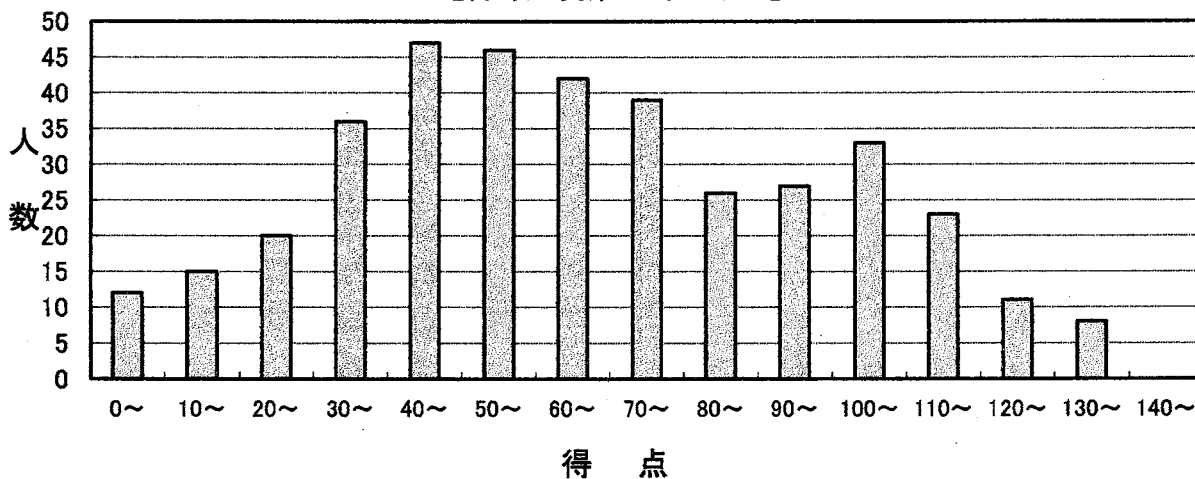
★A方式以外にB方式(国語と算数)、C方式(国語/表現力テストと算数)の3回の試験があります。ぜひともチャレンジしてください。

2021年度入試 桃山学院中学校 第2回プレテスト(11月23日実施) 教科別総括

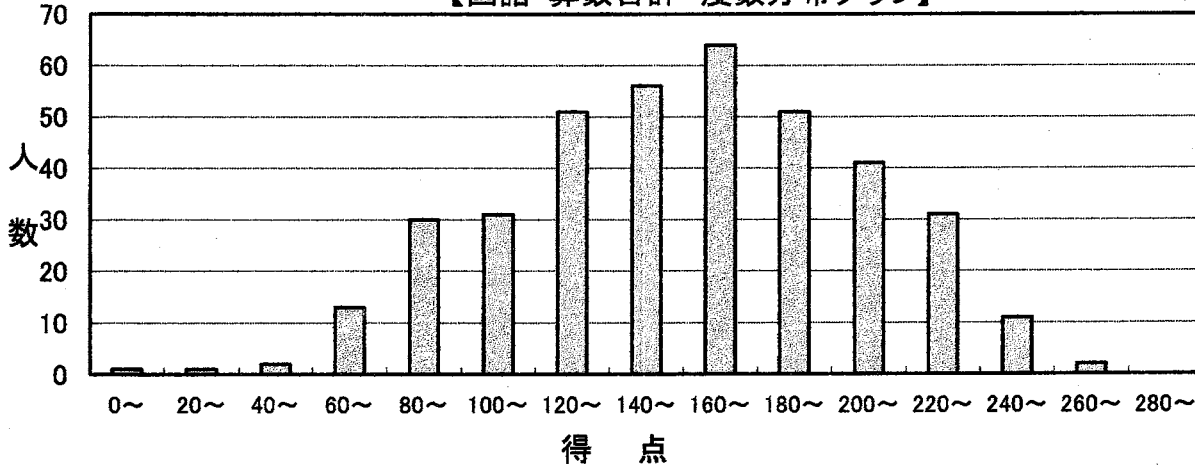
【国語 度数分布グラフ】



【算数 度数分布グラフ】



【国語・算数合計 度数分布グラフ】



国語

基本的な知識や読解力を習得している答案が多く、全体的にはよくできていました。これから入試本番までの間に、複数の根拠を必要とする問題や、本文の内容を別の表現で言い換えた選択肢の問題などに対応する読解力・解答力を磨いていってください。同時に、説明的文章であっても文学的文章であっても、新しい文章に出会う度に、疑問を持ったり、あるいは共感したりと様々な感動・気づきを通して、視野を広げて考えられる力をつけていってほしいと願っています。

◆大問一 (説明的文章の読解)

問1 正答率が低かった。基本的な熟語の構成だが、文を理解する際にも関係する思考方法である。

問6～8 本文の説明と合うもの、合わないものを選ぶ問題。一つ一つの言葉をしっかり見れば、本文と異なる内容を述べているのはわかる問題である。なんとなくの印象で正解を選ぶのではなく、「答えの証拠となる表現」を本文の中にしっかりと見つけに行くことが大事である。

問9 字数指定の抜き出し問題。ほぼ同じ説明が本文に書かれているので、他と比べて簡単であったようで、正答率が高かった。「探検」の誤字として「深」「険」が散見された。正確に文字を写し取る力も必要である。

問10 正答率が極めて低かった。段落構成を読み取る力があるかを問う問題であった。

◆大問二 (文学的文章の読解)

問6 記述問題。使用する言葉が指定されており、その言葉が本文のどこで使用されているかを探せば、まとめるのはそれほど難しくない。ただし、傍線部の「おまえ」が「萩村君」を指していることや、「おかげ」が蹴上がりをもマスターすることであることにも、気づいてほしい。また、三男が一人になったことが良い結果につながったことも踏まえてほしい。

問7～13 内容理解を問う問題。選択肢問題では、正解は一つしかなく、他は誤った説明や言葉が含まれている。これも一つ一つの言葉をしっかり確認すれば、それほど難しい問題ではない。しかし、本文の内容をしっかりと記憶していないと、どれが正解かわからなくなるのは当然だから、本文を読むときは、場面を思い浮かべて、それを記憶していくようにしてほしい。

◆大問三 (漢字の知識)

丁寧な楷書で書くこと。わかっているのに点数にならない書き方をしている解答が見られる。

◆大問四 (語句・文法の知識)

基本的なことわざ・四字熟語とその意味は丸暗記するのではなく、語源なども含めて理解しながら楽しんで学習しておこう。また、文を理解するうえで、どの言葉がどの言葉を説明しているかをとらえることは大変重要なので、特に長い文を読むときは、そういうことを意識しよう。(1)はひらがなで書くよう指示があることも見落とさないように。

算数

◆大問1 (計算問題)

全体的に良くできていました。中では(3)、(4)の出来があまり良くなかったです。分数や小数を含む計算や計算の途中が穴抜きになっている問題は毎年出題しています。間違えた人は、解き直してどの部分で間違えたのか確認しましょう。また、単位の換算は暗記するしかありません。復習しておいてください。

◆大問2 (小問集合)

基礎的な内容を幅広く出題しています。配点が高い大問なので、充分に対策をしてください。(1)、(2)は多くの人ができていて、(3)は差がつく問題でした。(4)～(6)はほとんどの人ができていなかった問題です。

(3)は、1分につき長針は6度、短針は0.5度動くことを知っていれば簡単な問題です。(4)は解説にある「100円玉を50円玉2枚とみなす」というテクニックを使うとやりやすいでしょう。ただ、知らなくても地道に数えればできたのではないのでしょうか。工夫がわからない時でもあきらめず、とにかく書いてみると解決する場合があります。(6)のような折り曲げる問題は、折り曲げる前と後の対応する辺の長さや角の大きさが等しいことがポイントです。

◆大問3 (利益の問題)

(1)は実は単純な問題で、「売り上げの合計＝仕入れ値の合計＋利益の合計」を使えばよいだけだったのですが、難しく考えた人が多かったようです。(2)は、頻出のつるかめ算の問題ですから、解き方をしっかり身につけましょう。

◆大問4 (速さとグラフの読み取りの問題)

(1)は良くできていました。(2)は花子さんの動きをグラフの中に入れて考えるとよいでしょう。このようなダイアグラムを利用する問題は、差がつく問題なので、多くの問題を解いて練習してください。

◆大問5 (規則性の問題)

大問3～6の中では、一番正解率の高い問題でした。(3)の解説に書かれている奇数の性質を知っていると、計算を楽にすることができる場合があるので、覚えておいてください。

◆大問6 (回転体の体積の問題)

(2)は、あえて3.14を計算せずに残しておくかと計算しやすい問題です。ややこしく見える計算は、つねに工夫を考えて解く練習をしましょう。

中学入試問題の出題意図－1

国語

①漢字の知識

- ・小学校学習範囲の漢字を、正しく読み書きできるか。
- ・部首や筆順、音訓、熟語の構成など発展的な漢字の知識が身についているか。

②語句・文法の知識

- ・現代国文法の基礎的な知識を理解しているか。
- ・ことわざや慣用語、四字熟語、外来語の意味や日常生活の中での使い方を理解しているか。

③文学的表現の読解力

- ・文学的文章（物語・小説）を読み、場面の移り変わりや登場人物の心情などについての的確に読み取れるか。
- ・読み取った内容についての的確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

④論理的文章の読解

- ・論理的文章（説明文・論説文）を読み、内容や論理の展開および筆者の主張や結論を正確に読み取れるか。
- ・読み取った内容についての的確に要約し、自分の言葉で表現することができるか。

⑤受験生へのアドバイス

- ・漢字については、単に読み書きできるだけでなく、部首や画数、音読み訓読みの区別、送り仮名などについても十分に理解を深めておこう。
- ・ことわざや慣用語は、意味を機械的に暗記するだけでなく、日常生活の様々な場面や会話の中での適切な使い方を習得しておこう。
- ・文章を読んだ時に、簡単なあらすじを人に説明出来るように、普段から心がけよう。
- ・普段から新聞や物語、問題集の文章をより多く読むことで、様々な分野についての知識や高い読解力を身につけるとともに、60～100字程度で内容を要約したり、自分の考えを表現したりする力を身につけておこう。

算数

①計算について

- ・出題のねらい…整数・小数・分数の四則演算や逆算を、正しくできるか。
- ・配点…約30点

②一行問題集合(基礎・応用・発展)について

- ・出題のねらい…各分野の一行問題集合(基礎・応用・発展)を理解しているか。
- ・配点…約40点

③各分野の問題(文章題含む)について

- ・出題のねらい…各分野の問題について理解しているか。
- ・配点…約80点(うち、基本～標準を約6割、応用・発展問題を約4割出題)

④受験生へのアドバイス

- ・計算分野…すべての基礎となるので、十分に練習しておこう。
- ・基本分野…応用力養成のためにもおろそかにせず、いつでも使用可能なように徹底的に定着させておこう。
- ・応用分野…定型化された思考にしばられないように、条件を整理してあらゆる可能性を試すように、訓練しよう。

中学入試問題の出題意図－2

理科

①物理・化学・生物・地学各1題ずつ

- ・配点…約25点ずつ
- ・基本的事項を理解しているか。
- ・実験や観察結果などから分析、考察する力がついているか。
- ・応用した計算などができるようになっているか。
- ・また、各教科に関連した時事問題に関心をもっているか。

②受験生へのアドバイス

- ・教科書でよく取り上げられる実験、観察方法などをまとめておきましょう。そして実験方法や計算だけに注意するだけでなく、応用できるよう物事の本質を理解しましょう。環境や自然科学に関連するニュースに興味を持ち、現代の課題に関する知識を深めておきましょう。

社会

①地理が2題（各20点）、歴史・公民分野各1題（30点）ずつ

- ・出題のねらい…各分野における基礎的知識を、正しく理解しているか。また、幅広い視野を有しているか。※各分野をまたがって出題することもある。

②受験生へのアドバイス

- ・地理分野…世界の主な地形・国名・地域名などを中心に基礎的な用語を整理し、また日本の地域の特徴・産業の結びつきなどをまとめておこう。
- ・歴史分野…歴史資料や年表に注意するだけでなく、テーマごとに歴史的事項の原因・経過・結果といった流れを把握しておこう。また、時事問題などにも幅広く関心を持つとともに、歴史事象を関連づけながら学習しよう。
- ・公民分野…公民分野を学習する際には、用語とその意味などの基礎的なことを理解するとともに、事がらの歴史的経緯も理解するように努めよう。新聞などを読み、現代社会がかかえている様々な問題や、今起こっている出来事にも目を向け、公民分野の知識と関連させながら学習しよう。

国語入試問題の出題内容について

1. C方式の出題形式

◇C方式入試（国語/表現力テスト）

通常の長文読解問題として2000～2500字程度の長文を読み、設問に答える形式の問題を1問出題します。ここには、漢字や語句・文法問題も含まれます。（100点/150点中）

また、表現力テストとして300～400字で、与えられたテーマに従って文章を作成する形式の問題を出題します。（50点/150点中）

2. 表現力テストについて

本校C方式入試では、「国語/表現力テスト」として、単なる文章読解力を問う形式のテストに加え、より実践的に文章構成力や表現力を問う形式のテストを行います。

「表現力テスト」は、以下のような力を量ることを目的として行われます。

- ①発想力……与えられたテーマに基づき、それにふさわしい内容の文章をその場で考え出す力。
- ②文章構成力…考え出した内容を、定められた文章量や形式に従って一定時間内で書ききる力。
- ③文章表現力…原稿用紙の正しい使い方を守り、自分の考えを適切でていねいな言葉づかいおよび文字づかいで表現する力。「文のねじれ」等がなく、きちんとした文章を書く力。

採点基準

- ①与えられたテーマにふさわしい内容が書けているか。
- ②句読点の表記や記号の使い方等を含む、原稿用紙の正しい使い方ができているか。
- ③誤字・脱字や文法上の誤り、「文のねじれ」等がないか。
また、接続詞や助詞が適切に使えているか。
- ④字数を守り、ていねいな文字で書かれているか。
- ⑤内容のまとまりにより、段落構成が正しくできているか。

※**試験時間は50分**です。その時間内で長文問題の読解と文章の作成、文章の見直しをバランスよく行ってください。

二〇二一年度

中学校入試「国語A・B・C方式」

☆出題傾向は大きくは変化しませんが、新傾向の問いも考えています。

☆抜き出し問題の抜き出しミス(誤字・脱字) ↓X

☆誤字脱字・読めない字 ↓減点かX

☆できるだけ漢字を使う。(読みやすい)

☆記述問題 ↓文字数を厳守。

※X字以内でという場合はXの8割以上書く。8割未満 ↓X

※8割目のマスに「。」はOK

※X字以上Y字以内の場合、X字未満 ↓X Y+1字以上 ↓X

☆記述の仕方(例が書いてあれば同じように書く。自分でアレンジしない)

☆入れるべきキーワード ↓必ずすべて書く(順序は問わない)

☆文末の「。」必ずつける。

※「なぜ〇〇なのか。」 ↓〇〇だから。

※「どのようなことか。」 ↓〇〇と〇〇と〇〇。

※「どのような気持ちか。」 ↓〇〇という気持ち。

※「どのような様子か。」 ↓〇〇という様子。

※「どういう人か。」 ↓〇〇という人。

など、基本的には問いのオウム返しで。

ただし、

☆キーワードがすべてあり、文字数も満たしていても、文章自体の意味が?はX

※主語・述語のねじれがある ↓X

※言葉の使い間違え ↓X

※句読点のない長文 ↓減点かX

☆文字に関しては、達筆は不要 ↓楷書で一画二画しっかり、はっきり書く。

続け字で、画数が変わることがないように。

☆えんぴつ(シャープペンシル)の字の太さ ↓太い字は読みにくい。

☆消しゴムの使い方が悪いのか、消しゴム自体が悪いのか、信じられないほど汚く
なっている答案や箇所がある ↓X

☆「、」「。」「は過不足なく。一文が長すぎる文や短文の連続などがないように。

☆「?」「や」「ー」「は会話文以外には使わない。

☆答案を丁寧を作成し、「採点者を自分の味方にする」

以上 国語科

C方式 作文の書き方・注意点

☆段落指定があれば必ず従う→「段落なら」段落で。 **すぐに改行をしない**

☆文字数指定があれば必ず従う→何百字以上何百字以内。

☆「文末の統一」 ↓ 「だ。」「です。」「です。」

または「です。」「ます。」「で統一。

☆「思ったこととは」と思った。「感じたこととは」と感じた。・・・×

「思ったこととは」ということだ(です)。「・・・○

「感じたこととは」ということだ(です)。「・・・○

☆作品名や引用文・会話文には「」を付ける。

☆誤字脱字注意。書き直す時には、消し「△」を丁寧に使う。答案を汚くしない。

☆原稿用紙の使い方→段落の最初の「マスを空ける。

文末の。「を」の「。」。原稿用紙各行の頭「。「。「。」「が来ないように。

☆会話文の最後は「マス」。

☆会話文以外で、話し言葉(口語的表現)・大阪弁は使わない。

具体例

・「うけむ」・・・× 「うけむ」「が」・・・○

・「や」・・・× 「や」・・・○

・「ちゃん」・・・× 「ちゃん」「つかさ」・・・○

・「けっけう」だ。「・・・× 「かなり」だ。「・・・○

・「今いち」・・・× 「どうも」・・・○

・「うじゃな」・・・× 「うじゃな」・・・○

・「あつなのは」・・・× 「そつ」「それ」「それ」・・・○

・「あんまり」・・・× 「あま」・・・○

・「AとかBとか」・・・× 「AやBや」・・・○

・「とうるか」・・・× 「あつ」「うや」・・・○

・「だったんだ」・・・× 「であつたのだ」・・・○

・「んじゃ」・・・× 「では」・・・○

・「んだな」・・・× 「のだな」・・・○

・「してた」・・・× 「して」・・・○

・「してる」・・・× 「して」・・・○

・「いろんな」・・・× 「いろいろな」・・・○

・「こんな・そんな・あんな・どんな」・・・× 「この・あの」・・・○

☆最後に他人になったつもりで「推敲」する。 以上 国語科